

Technologies for Sustainable Development

社会の持続的発展に貢献する東京応化のフォトレジスト

気候変動問題の深刻化や新たな感染症など、次々と現れるグローバルリスクと社会的課題の解決に、半導体をはじめとする先端テクノロジーは大きな役割を果たしています。東京応化は、各時代の社会的・科学的課題の解決に資する半導体向けの高付加価値材料を開発・提供し続けることで、経済的価値と社会的価値を拡大しています。



経済的価値
あらゆる産業の進化と技術イノベーションに貢献

社会的価値
高度な社会的・科学的課題の解決を加速
気候変動リスクの低減・脱炭素に貢献

東京応化の半導体向け材料事業

2020年12月期 過去最高業績を達成

貢献するSDGs



2021年12月期～ 経済的価値と社会的価値のさらなる拡大へ

TOK Vision 2030

豊かな未来、
社会の期待に化学で応える
“The e-Material
Global Company”

Contents

Aiming for Sustainability

- 0 0 1 統合レポート2020の発行にあたり
- 0 0 2 Technologies for Sustainable Development
- 0 0 4 Our Flagship
- 0 0 6 Our History
- 0 0 8 Our Resources
- 0 1 0 Our Value Creation Process

Our Value Creation

- 0 1 2 Stakeholder Engagement
- 0 1 4 Our Material Issues
- 0 2 0 東京応化 At a Glance
- 0 2 4 主要データの10年推移および分析

Long-Term Strategy

- 0 2 8 「TOK Vision 2030」と2040年「100年企業」の実現に向けて
- 0 3 0 To Our Stakeholders — 社長メッセージ
- 0 3 8 過去2回の中長期計画のレビュー／tok中期計画2021の全体像
- 0 4 0 特集 Technologies for Sustainable Development — ステークホルダーとの共有価値創造
- 0 4 6 CFOメッセージ
- 0 5 0 環境統括責任者メッセージ
- 0 5 3 新事業開発統括責任者メッセージ
- 0 5 4 TCFDに基づく気候変動関連の情報開示
- 0 5 6 営業統括責任者メッセージ
- 0 5 8 開発統括責任者メッセージ
- 0 6 0 総務・人事統括責任者メッセージ
- 0 6 4 事業セグメント別概況

Our Foundation

- 0 7 4 取締役、監査役および執行役員
- 0 7 6 退任取締役／社外役員からのメッセージ
- 0 8 1 コーポレート・ガバナンス
- 0 9 6 地球環境の保全
- 1 0 6 化学物質の管理
- 1 0 9 労働安全衛生・保安防災

Data Section

- 1 1 2 主要データの推移および分析
- 1 1 8 連結財務諸表
- 1 2 3 株式状況
- 1 2 4 グローバルネットワーク
- 1 2 6 企業概要／外部評価
- 1 2 7 第三者検証 意見書

編集方針

報告対象範囲など

- ・期間 2020年12月期（2020年1月1日～2020年12月31日）
（一部2021年1月以降の内容等を含む）
- ・組織 東京応化工業株式会社および連結対象子会社・持分法適用会社
（→P124-125「グローバルネットワーク」ご参照）
ただし、それ以外の場合は、本文中に記載
- ・Webサイトでの公開
本統合レポートに掲載していない内容を含む財務情報や非財務情報に関する様々な取組みについては、当社Webサイトにて情報を入手いただけます。 <https://www.tok.co.jp>



参考にしたガイドラインなど

- ・環境省「環境報告ガイドライン 2018年版」
- ・日本規格協会「ISO26000：2010 社会的責任に関する手引き」
- ・GRI「サステナビリティ・レポート・スタンダード」
- ・IIRC「国際統合報告フレームワーク」(2021年改訂版)
- ・経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」



将来見通しに関する注意事項

本統合レポートには、東京応化工業株式会社の事業計画、業績および経営戦略に関する将来の見通し、予想等が含まれております。そのような記載は、その時点までに入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。従って、実際の業績や経営戦略は当社の事業環境の変化により、この業績見通しとは大きく異なる結果となる可能性があるため、読者の皆様におかれましてはこの業績見通しにのみ全面的に依拠されませんよう、お願いいたします。